

こんにちは！ 室長の工藤です。

平成24年（2012）4月6日に配信を開始した「あおり歴史トリビア」は、今回の配信をもって300号となりました。ちょうど6年、延べ11名の執筆者がそれぞれの興味や関心をもとに書き続けてきました。

ここで改めてメールマガジンを始めたときのことを思い起こしてみると、平成23年度の年度末、市史編さん室の職員・嘱託員が集ったミーティングの席で、当時の室長から「メールマガジンを始めよう！」という提案がありました。そして、執筆は嘱託員が担い、配信は隔週で…ということだったと思います。それが毎週配信になったのは、私が「やるのであれば毎週配信、執筆は全員で！」と言ったからではなかったかと記憶しています。これを室長がまず了としてくれたからでしょうか、執筆もみんなでということになりました。

こうした経緯で始まった訳ですが、当初は「市史編さんを知ってもらおう」という意識があり、市史編さん室の講座案内やその参加記といった内容も多く配信しました。

その後、スタッフの中からインターネット環境にない方々にも読んでもらいたいと「冊子版」が提案され、現在第18集まで作成しています。

さらに、平成26年7月からはメールマガジンを活用した歴史講座「『あおり歴史トリビア』を読む会」を、市民図書館と市史編さん室が共同で始め、先週45回目の講座を開催しました（毎月第3水曜日に開催）。

また、平成27年度から市史編さん室が市民図書館に移管され歴史資料室になったことを機に、講座の開催が昼夜2回となり、多くの方々に参加していただいています。



歴史講座「『あおり歴史トリビア』を読む会」のようす

このように、メールマガジンは、歴史資料室の情報発信の中心的な位置にいます。そして、第1回目の配信では「皆様に親しまれ、ちょっと役立つコーナーを目指します」と謳っています。来週の301回目からも、そのときの気持ちを忘れず、しかもどちらかというと「堅苦しい」イメージを持ちがちな歴史というテーマを、楽しく、分かりやすくお伝えできるようやっていきたいと思っています。

なお、4月12日から「あおり歴史トリビア 300回を振り返る」をテーマで展示を行います。期間中、市民図書館に足をお運びの節は、是非こちらにもお立ち寄りください。

そして、今後ともメールマガジン「あおり歴史トリビア」をよろしく願いたします。